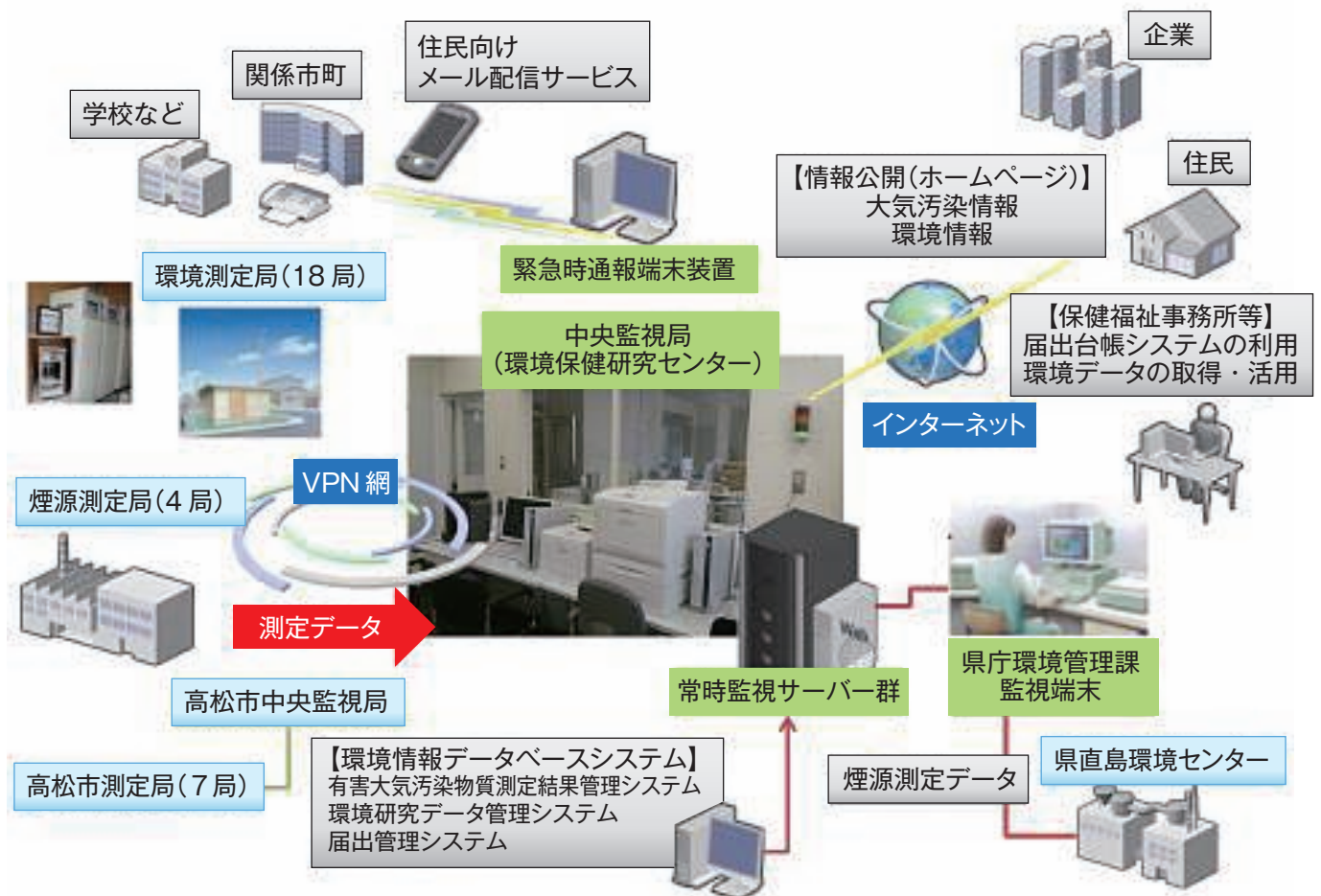


大気汚染常時監視体制の再構築等を行いました

昭和40年代以降、集中立地型大気汚染に対応するため、中讃地域等の工業地帯を中心に大気汚染常時監視を実施してきました。しかし、近年の微小粒子状物質（PM2.5）に代表される広域的な大気汚染に対応するため、平成27年7月の大気汚染常時監視システムの更新に合わせて、常時監視体制を再構築し、光化学オキシダント注意報等の発令対象地域を見直しました。

1 新大気汚染常時監視システム

大気環境の変化を24時間チェックする最新のシステムです。
収集した測定データは即時にインターネット配信します。

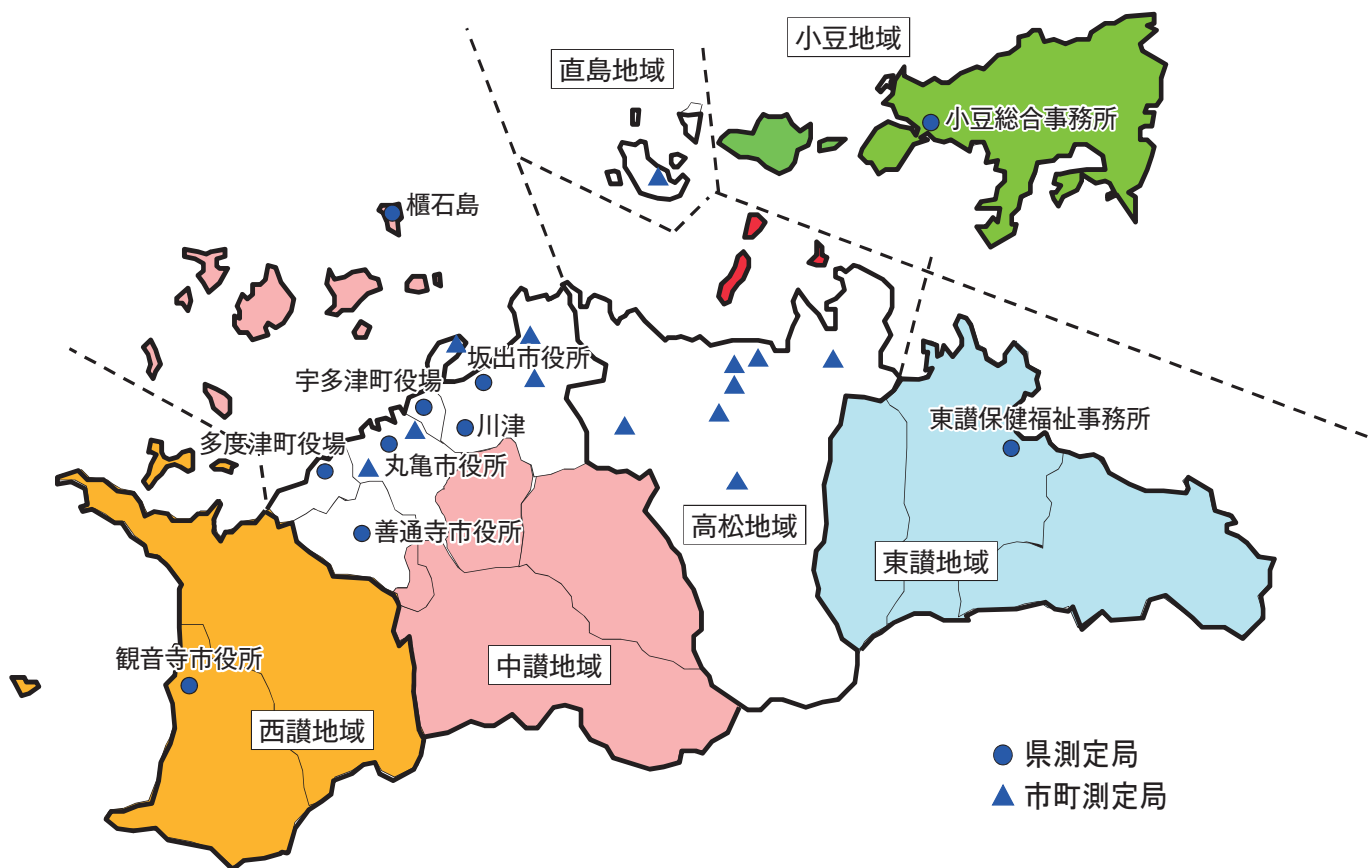


2 大気汚染常時監視体制の再構築

広域的な大気汚染に対応するため小豆地域に大気測定局を新設するとともに、PM2.5（微小粒子状物質）や光化学オキシダント等の測定機器を平成27年7月に「小豆総合事務所」、「東讃保健福祉事務所」、「観音寺市役所」に整備しました。

また、光化学オキシダント注意報等の発令地域については、「高松地域」、「中讃地域」、「直島地域」が対象でしたが、平成27年7月から県下全域が対象となるように見直しました。

- 県測定局での主な測定項目は、光化学オキシダント、PM2.5、二酸化硫黄、二酸化窒素です。



3 大気汚染常時監視状況の情報発信

大気汚染の状況をリアルタイムにお知らせできるシステム「さめきの空情報館」を開設しています。

県内23か所の測定局での光化学オキシダント、PM2.5の濃度の状況など大気についての様々なデータを掲載していますので、アクセスしてください。

さめきの空情報館

<http://www.taiki.pref.kagawa.jp/taiki/>

※メールによる情報発信も行っています!!

こんな研究 やってます ③

研究テーマ 香川県におけるPM2.5汚染実態と発生源別寄与率解明に関する調査研究

研究期間 平成26年度～平成28年度

研究内容 平成24年3月から微小粒子状物質（PM2.5）の質量濃度や成分分析による常時監視が行われています。しかし、PM2.5の発生源別の寄与率や生成機構などに不明瞭な部分が多くあります。

今後、汚染実態の解明、高濃度事例の原因解明や発生源別の寄与率を把握していくことで、よりよい環境への効果的な対策に役立てていきます。



PM2.5サンプリング装置
〔左、中央：成分分析用〕
〔右：質量濃度用〕

PM2.5って何？

大気中に漂う粒子のうち、粒径が2.5 μ m以下（1 μ mは1mmの1/1000）のもので非常に小さいため、肺の奥まで入りやすく、健康への影響が心配されています。

PM2.5ってどこから出てくるの？

PM2.5の発生源は、人為起源と自然起源に分類されます。人為起源には、ボイラー、焼却炉などのばい煙を発生する施設、コークス炉、鉱物の集積場などの粉じんを発生する施設、自動車、船舶、航空機などが、自然起源には、土壌、海洋、火山などがあります。



6月は環境月間

～詰田川ボランティア清掃～

6月18日、職員有志で詰田川河岸のゴミを拾いました。この清掃は平成19年から始めていますが、年々ゴミの量が減っています。約30分で清掃は完了しました。



before



after



支部長表彰受賞

5月に岡山市において、中国四国支部会議が行われました。日頃の業績が評価され、当センターの安永主任研究員が平成27年度地方衛生研究所全国協議会中国四国支部長表彰を、砂古口主任研究員が平成27年度全国環境研協議会中国四国支部長表彰を受賞しました。



緑のカーテン見学& 環境学習ツアーを実施!

夏の節電・省エネ対策になる緑のカーテンの見学や環境学習に関連のある施設見学等を行い、環境問題への関心を高めていただくため、環境学習ツアーを行いました。

7月30日、小学生を対象（保護者と参加）に11組27人が身近な水（野菜のゆで汁、風呂の残り湯など）の水質検査体験を実施しました。

公共用水域の水質を保全するためには、水質汚濁の大きな原因を占める「生活排水」の対策を進めていくことが大切です。みなさんも家庭から排出する水の汚れを減らすため、できることから取り組んでいきましょう!



私たちが今日からできること

- 食べ残し・飲み残しをなくそう
- 流しから調理くずをながさない
- 使い古しの油を流さない
- シャンプー・洗剤を使いすぎない
- 風呂の残り湯は洗たくなどに再利用する

KAGAWA環境研だよりVol.26 平成27年9月

編集・発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105

TEL (087)825-0400 FAX (087)825-0408

E-mail: kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

U R L: http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyo/e_center/hoken.htm